豊平川情報MAP

もともとサケが多く遡上する豊平川。1940 年頃には増殖事業も行われていましたが札幌市の人口増加に伴い水質が悪化し、一時期姿を消してしまいました。その後、水質は改善され札幌市民によるカムバックサーモン運動によって 1979 年に放流が再開されました。
現在は、湧水が多い東橋を中心に真駒内から環状北大橋の約 10km の範囲で、毎年 1,000～2,000 尾のサケが遡上し自然産卵しています。さらに、遡上するサケの半数以上が野生魚であることも判明したため、2016 年から遡上数が平均 1,000 尾以上の時は放流数をこれまでの半分以下に減らすなど、放流数の順応的管理を実施しています。

0m　500m　1km　N

● 2017年のサケ産卵床分布
⚓ 湧き水を確認した所
（札幌市豊平川さけ科学館調べ）

JR札幌駅　JR苗穂駅　さっぽろテレビ塔　創成川　大通公園　すすきの　地下鉄南北線 すすきの駅　地下鉄東西線 バスセンター前駅　地下鉄東豊線 豊水すすきの駅　地下鉄南北線 中島公園駅　地下鉄南北線 幌平橋駅　地下鉄南北線 学園前駅　地下鉄南北線 南平岸駅　中島公園　豊平川　精進河畔公園　藻岩山　山鼻川　精進川　北の沢川　真駒内公園　真駒内川　至 地下鉄南北線 真駒内駅

北1東17丁目　東橋通　北1東10　環状北大橋　北13条大橋　上白石橋　平和大橋　東 橋　水穂大橋　1条大橋　豊平橋　南7条大橋　南大橋　幌平橋　南19条大橋　南22条大橋　ミュンヘン大橋　藻岩橋　五輪大橋　真駒内セキスイハイム アイスアリーナ

12　36　230　275　453

海へ

春には稚魚の調査をしているよ

観察に行こう！ 観察のポイント

- 観察時期：10月から11月
- 場　　所：豊平橋から上白石橋
- 時 間 帯：天気の良い午前中がベスト

★橋の上から水の中をのぞくと観察しやすい

こんなところを探してみよう！

ベストポイントは随時変わります

問合先
さけ科学館
☎011-582-7555

ゆらゆら漂う白いサケ

産卵床（コケが生えていない砂利の山）

浅瀬で水しぶきを上げてケンカするオスたち

産卵環境改善

大都市を流れる豊平川では、水道水の確保や防災のため、ダムや護岸などの施設と管理が必要です。
人とサケとが上手に共存できるよう、ＳＷＳＰでは札幌河川事務所・工事業者・各研究機関と連携して、産卵場を改善する取り組みを行っています。

水路を掘ったり、川底をほぐしてフカフカにすることで卵を産みやすくしています。

調査活動

秋 産卵床調査

産卵床を守るメスザケ

産卵期には月２回の頻度で産卵床の数を調べています。１匹のメスは１つの産卵床を作るので、産卵床の数を数えることで親サケの総数が分かります。

春 標識放流

豊平川ではサケ稚魚の放流もしています。放流した稚魚には“標識”を付けて、野生のサケと区別できるようにしています。

春 稚魚調査

３月～５月にかけてサケの稚魚が海へ旅立ちます。産卵場の最下流（環状北大橋）で、稚魚の数などを調べる生態調査をしています。

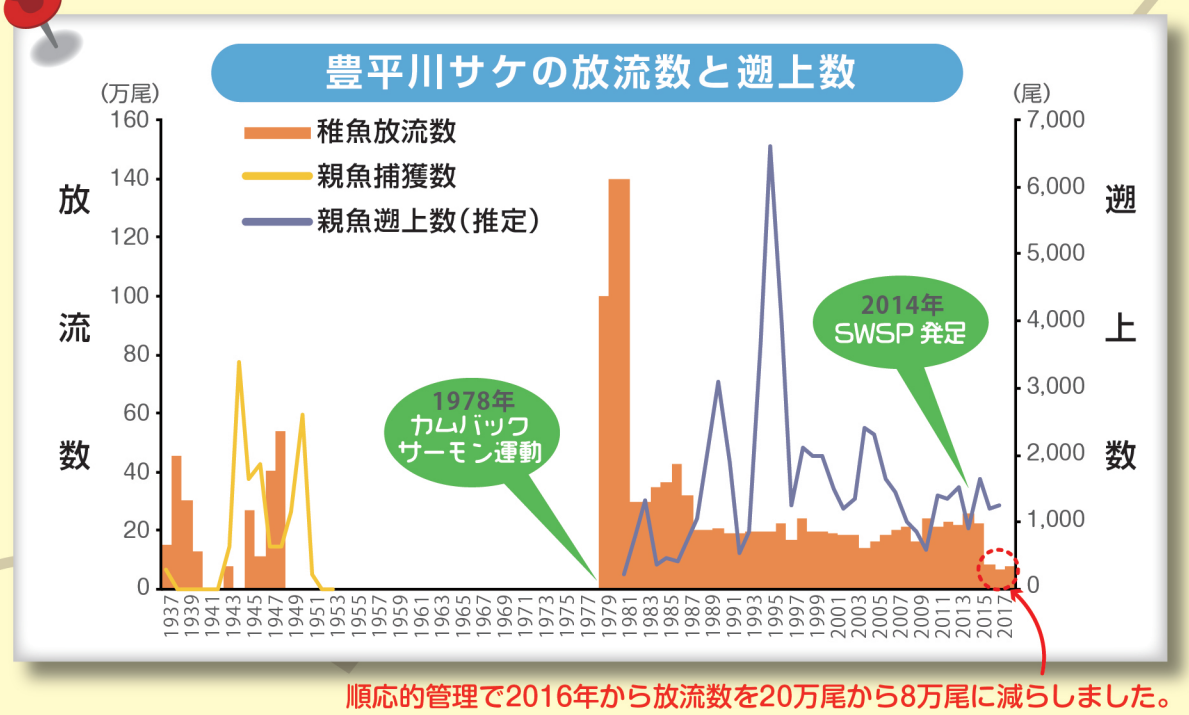
精進川の滝（9月下旬～10月上旬）

真駒内川

湧き水が出てるから上流でも卵が産めるよ

SWSP事務局
札幌市豊平川さけ科学館

豊平川サケの放流数と遡上数



順応的管理で2016年から放流数を20万尾から8万尾に減らしました。